

藤三、全25店舗へ自動発注サービス「sinops-CLOUD」導入 1店舗あたり月間124時間の人時削減と食品ロス削減を達成

株式会社シノプス（本社：大阪府豊中市、代表取締役社長：岡本 数彦、以下「当社」）は、株式会社藤三（広島県呉市、代表取締役社長：藤村 重造、以下「藤三」）の運営するスーパーマーケット全25店舗に需要予測型自動発注サービス「sinops-CLOUD」の導入が完了したことをお知らせします。



■ 背景

藤三は、広島県内に食品スーパー「藤三」とディスカウントスーパー「ビッグハウス」の計25店舗^{*1}を展開するスーパーマーケットです。ローコスト運営、快適な売り場設計、地元食材を活用した多彩な惣菜を軸に、長年地域に根ざした店舗運営を行ってきました。

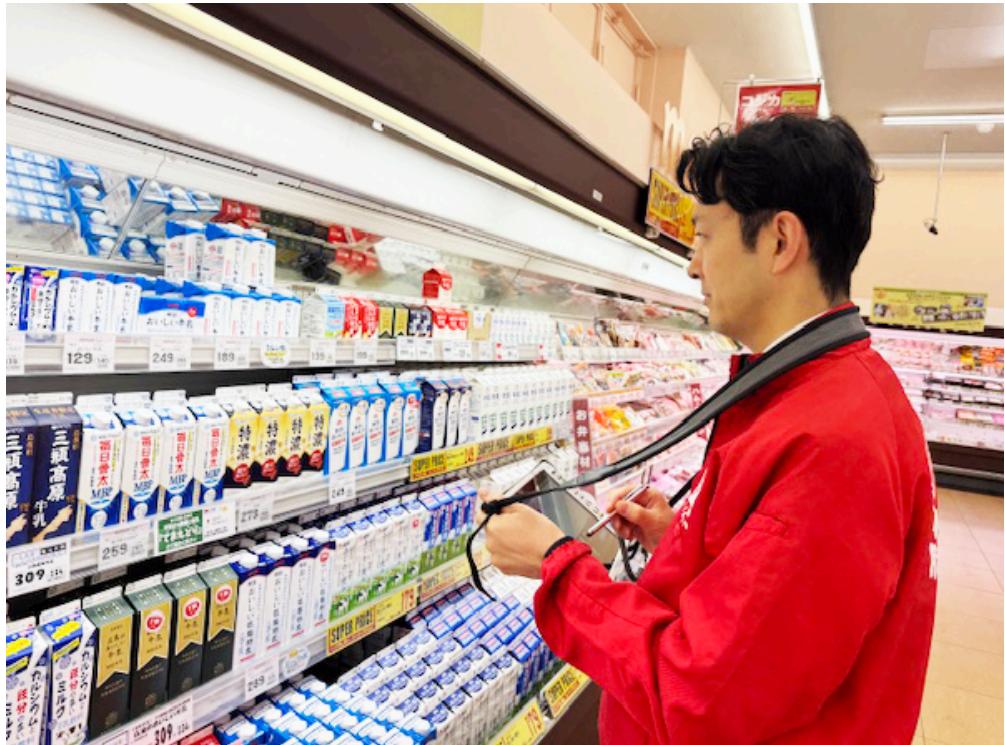
しかし、藤三では発注業務に課題を抱えていました。日配部門^{*2}では経験と勘に頼った担当者による手動発注、グロサリー部門^{*3}では基幹システムによる発注点管理方式^{*4}での自動発注を採用しており、担当者の属人化や天候やイベントなど急な需要変動への柔軟な対応が困難な状況でした。その結果、賞味期限の短い日配品やパンのロス率が高く、発注作業には1店舗あたり月間約100時間もの時間が費やされていました。これらの課題を解決するため、藤三は需要予測型の自動発注システム導入を検討。「sinops-CLOUD」の1カテゴリ・1機能・1店舗から導入可能な柔軟性、初期投資を抑えられる点に加え、ロス削減や人時改善への高い効果と豊富な実績を評価いただき、2024年11月に採用が決定。一部店舗での実証実験を経て、2025年10月には全店舗での本稼働が完了しました。

*1 2025年11月末時点

*2 日配：毎日店舗に配達される牛乳、乳製品、豆腐、生麺やデザート類といった賞味期限の短い食品の総称。デイリーとも呼ばれる。

*3 グロサリー：調味料、缶詰、ペットボトル飲料・酒類、お菓子などの常温で管理保存が可能な加工食品

*4 発注点管理方式：あらかじめ決めておいた在庫数を下回るたびに一定量を発注する仕組み



■ 導入効果

今回「sinops-CLOUD」を導入したのは、日配、惣菜、パン、精肉、冷凍食品、日用雑貨をはじめとした17カテゴリーです。導入の結果、最も顕著な効果として、発注業務の効率化による作業時間の劇的な削減が確認されました。当初の目標は1店舗あたり月間60時間の削減でしたが、実際には発注作業で約47時間、品出しなどの関連作業で約77時間、合計約124時間の人時削減を達成^{*5}しました。また、AIによる精度の高い需要予測に基づいた自動発注により、食品ロスが課題だったカテゴリーにおいても、食品ロスの削減と売上向上の両立も実現しています。具体的には、パンカテゴリでは売上が3%増加、ロス率は1.3pt削減、日配カテゴリでは売上が1%増加、ロス率は0.3pt削減、惣菜カテゴリでも売上が6%増加し、ロス率は1.3pt削減しており、販売機会の損失を防ぎながら無駄を削減する効果を実感いただいております。店舗担当者からは、「発注勧告の精度が高く、端末（sinops-Pad/Got）も使いやすい」「発注勧告の根拠も確認でき、納得感がある」といった、の高い評価のコメントも寄せられています。

^{*5} 効果数値はいずれも導入店舗の平均値

■ 今後の展開

藤三は今後も「sinops-CLOUD」を積極的に活用し、さらなる食品ロスの削減、在庫の最適化を推進します。これにより、店舗オペレーションの継続的な効率化を図り、地域のお客様へのサービス向上と企業価値の向上を目指してまいります。



■ 主な導入サービス

sinops-CLOUD リアルタイム在庫：店舗ごとの在庫・売上情報をリアルタイムで把握できるサービス
sinops-CLOUD 客数予測：天候・イベント等を加味し、時間帯別の客数を予測するサービス
sinops-CLOUD 日配：日配品に特化した需要予測型自動発注サービス
sinops-CLOUD 惣菜：惣菜に特化した需要予測型自動発注サービス
sinops-CLOUD パン：パンに特化した需要予測型自動発注サービス
sinops-CLOUD グロサリー：グロサリーに特化した需要予測型自動発注サービス
sinops-CLOUD 雑貨：雑貨に特化した需要予測型自動発注サービス
sinops-CLOUD 品揃登録：日別の適正品揃えを本部や店舗でコントロールするためのオプションサービス
sinops-Pad/Got：棚割メンテナンス、発注端末アプリ
など

■ 「sinops-CLOUD」について

需要予測・自動発注を軸としたクラウドサービスを1カテゴリー・1機能・1店舗から、必要な機能を必要なときに低価格で導入いただけます。在庫情報をリアルタイムで収集する「リアルタイム在庫」や45日先までの客数を予測可能な「客数予測」、販売実績や天気予報などのさまざまなデータから、店舗にあわせた発注数をAIが算出する自動発注サービスのほか、惣菜の値引き率・タイミングをAIが導き出す「AI値引」などもラインナップしています。

「sinops-CLOUD」製品サイト：<https://www.cloud.sinops.jp>

■ 株式会社藤三について

株式会社藤三は、呉市を中心に広島県内に25店舗（2025年11月末時点）を展開するスーパーマーケットです。藤三はひとつひとつのお店が地域の皆様に愛され、毎日安心してお買物を楽しんでいただけるお店づくりをめざしています。もっと良い品をお値頃価格で、もっと新鮮で美味しいものを皆様の食卓へお届けしたい。そして毎日ご利用いただくすべてのお客様を笑顔にしたい。その笑顔の食卓づくりのお役にたてるよう、いま一番求められているおいしさやサービスの向上に努めています。

■ 株式会社シノプスについて

株式会社シノプスは、「世界中の無駄を10%削減する」をビジョンに掲げ、需要予測型自動発注サービス「sinops」（シノプス）を開発・販売しているソフトウェアメーカーです。日配食品や惣菜といった賞味期限が短く需要予測がむずかしいとされるカテゴリーのシステム化に成功。多くの食品小売企業に採用いただいております。在庫に関わる人、もの、金、時間、情報を最適化するITソリューションを提供し、限りある資源を有効活用することで、広く社会に貢献していきます。東証グロース上場（証券コード：4428）。

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社シノプス 管理部 IR担当

Email : ir@sinops.jp

お問い合わせフォーム：<https://www.sinops.jp/contact/>